

**令和5年度自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る
環境モニタリング有識者委員会 議事録**

日 時：令和5年12月5日（火） 15：00～16：25

場 所：エルガーラホール 7階 中ホール

出席委員：藤本 一壽会長、小島 治幸副会長、田中 綾子委員、柳 美代子委員、
江口 和洋委員、福原 達人委員、小林 登茂子委員

事務局出席者：国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所
森住所長、松本第三工務課長

福岡北九州高速道路公社福岡事務所

前田福岡事務所長、古賀沿道対策課長、赤木調査役ほか

福岡市港湾空港局

荒巻港湾計画部長ほか

福岡市道路下水道局

竹下計画部長、大浦高速道路推進課長ほか

委託業者：アジア航測株式会社

議事概要

（1）会長・副会長の選出

要綱に基づき、互選により藤本委員が会長に選出、藤本会長の指名により小島委員が副会長に選出された。

（2）環境モニタリング調査報告書（案）について

【事務局】①全体調査計画書、②環境モニタリング調査結果について、一括して説明。

①全体調査計画書

意見なし

②環境モニタリング調査結果

【委員】Ⅱ-82 ページ、自動車の走行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与濃度はどのように求めたのか。

【事務局】走行距離当たり、燃料消費量当たりの原単位（「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成 22 年度版）」（平成 24 年 2 月、国土技術政策総合研究所資料））が公表されており、自動車の台数を乗じている。また、風向や風速などを加味し、この地点ではどれくらいの濃度になるかを予測している。排出規制があるため、原単位は平成 30 年とか、平成 35 年とか、将来的な排出量が公表されており、令和 12 年に近い排出量原単位を使って予測している。

【委員】風況による影響は拡散計算によるものか。

【事務局】シミュレーションによる計算方法があり、16 方位それぞれにどれくらい拡散していくかというのを予測している。

【会長】再確認だが、オーソライズされた求め方があるということか。

【事務局】国総研から出されている道路環境影響評価の技術手法に基づいた予測手法、調査手法を用いている。

【委員】Ⅱ - 89 ページ、騒音調査結果で昼間、夜間の値が出ているが、これが平均とすれば、最大値や最小値は、どこかに記載されているのか。

【事務局】これは、等価騒音の平均値であり、基準が平均値のため、最大最小というのは、説明資料には記載していない。

【会長】補足説明させていただく。平均ではなくエネルギー平均という。時間ごとの値は表にまとめているはずである。昼間と夜間は何時から何時までと決まっており、時間ごとの平均をエネルギー平均している。環境基準はそれで求めた昼間と夜間の平均値をもって評価することになっている。

【委員】騒音は、令和 12 年にはぎりぎり環境基準をクリアする形になっている。今日現場でも、下を通る車はすごく多く、かなり騒音がひどいなと思った。ということは、周辺の人口が増えることによって、予想の車の台数が増えたり、高速道路ができ、便利になり和自方面から通ってくる人が増えたり、今後、環境基準をクリアできるかというところに関ってくるので、都市計画と都市の発展の状況はバックグラウンドとして押さえておくべきだと思う。

【委員】鳥類の飛翔状況の調査結果で、高速道路を横切るというのは、水路をはさんだ陸間の移動か、この水路に架かっている高架橋を横切るかどちらかで、どの鳥も海と陸の間を行き来するという習性はほとんどない。一番横切るとしたら、100m 水路を横切って陸地間を移動する場合である。その場合は陸鳥が多く、大

概高架道路の下を通っていく。問題は、海鳥がこの高架道路を横切っていくときに邪魔にならないかということであるが、水路上の橋以外の高架道路はかなり高く、橋の部分はかなり低くなっているため、移動は大概（水域）を飛んで、橋を横切っていくので移動の障害とはならない。この調査の結論としてそれほど影響はなかったということは妥当だと感じている。

【会長】 報告書への記述に関しては、事務局のこの案についてはこれでよろしいか。

【委員】 問題ない。

【委員】 II - 152 ページ表 1.3-105 10 倍ぐらい公園利用者が増えたことについて、これを良いとみるのか、悪いとみるのか、どう考えているのか。

【事務局】 香椎浜北公園が混んでいて、居づらいというような状況ではないので、今のところ特にストレスのあるような公園ではないと考えている。

【委員】 香椎照葉地区周辺の人口はアセス当時よりかなり増えたのではないか。その観点から、公園利用者が 10 倍以上も増えた要因をもう少し明らかにすればと思う。

【事務局】 委員から言われたように、香椎照葉地区の人口がかなり増えている。小学校も児童が増え建て替え等も実施している状況である。今回公園を再整備した結果、利用者数が約 1,000 人程度増えている。実際、土日の調査に同行したが、かなりの人数がいた。高架下の広場は、野球やサッカーの順番待ちの状態であった。香椎浜北公園以外にも香椎浜中央公園などがあるが、そちらの利用者も増えている状況であり、やはり香椎照葉地区周辺の人口が増えていることが一番の原因だと思っている。

【委員】 香椎照葉地区の人口の違いがわかるようなものを追加すれば良いと思う。

【事務局】 香椎照葉地区だけではなくて、香椎浜地区でもマンションが建設されているので、どうしたら対比できるのかというのを確認した上で整理させていただく。

【会長】 この報告書に関していえば、公園の利用者が増えたなど直接的なことだけではなく、もっと広い視野で、この地域での人口増といった状況を考慮しながら公園も整備していくというような、そういう報告の仕方が望ましいと思う。

【委員】Ⅱ - 145 ページ、「エントランス部の植栽」と記載がある写真は、樹木が見えない。

【事務局】植栽されているが写真では見えにくいので整理する。

【委員】Ⅱ - 158 ページのまとめの最後で、騒音は環境基準を達成すると判断するとあるが、ぎりぎりである。アセス時の予測より値が下がっている理由としては排水性舗装にしたと説明があった。排水性舗装は、だんだん目詰まりして、現状の騒音低減効果を維持できないこともあるので、今後の状況も考慮して維持管理を適正に行い、予測結果を下回るような努力をするなどの、記述を入れていただきたい。

【会長】重要な点であるので、注意をするよう事務局のほうに伝えておく。環境基準ぎりぎりの値なので、今後もきちんと見守るべきだと思う。

【委員】その点に関してⅡ - 100 ページに、騒音に関するまとめのところで、「なお、今後については著しい環境への影響や苦情等が生じた場合」とある。それを最後（Ⅱ - 158）のまとめのところに追加すれば良い。

【会長】確かに抜けている。大丈夫ですと言いきらないで、何かあったときにはこうしたいというのをまとめの中で総括すべきだと思う。

【事務局】追加させていただく。

【会長】最後に、重要なポイントであるが、約 10 年間やってきた環境モニタリング調査を終わりにしたいと事務局から提案があった。それに伴ってこの委員会もこれで解散になると思うが、よろしいか。

【委員】異議なし

【会長】報告書の修正は、私に御一任いただくことでよろしいか。

【委員】異議なし

(3) その他

【事務局】 今後のスケジュールを伝える。

以上